



神奈川県東ロータリークラブ

KANAGAWA EAST ROTARY CLUB

DISTRICT 2590 / CHARTERED MAY 29, 1976 / WEEKLY BULLETIN

2005-2006年度RI会長
カール・ヴィルヘルム・ステンハマー

超我の奉仕



2005～06年度
第2590地区ガバナー
金杉 誠

SERVICE Above Self

会 長	山本 登	副 会 長	吉田 隆男
副 会 長	山木 幹夫	会長エレクト	小池 将夫
幹 事	江森 国一	クラブ会報	高田 修
S A A	吉橋佐千男	会 計	館野 典久

- 事務局 / ホテルキャメロットジャパン内
〒220-0004 横浜市西区北幸 1-11-3
TEL:(314)3900 FAX:(314)3555
- 例会日 / 毎週金曜日 0:30～1:30 PM
- 例会場 / ホテルキャメロットジャパン
- 創立記念日 / 昭和51年5月29日
- URL / <http://www.kanagawahigashi.com/>
- E-mail / kerc@beach.ocn.ne.jp

【クラブテーマ】
原点に回帰。そしてロータリーを楽しもう。



【八幡神社（白幡仲町）（白幡仲町 138 番地）】

2005-06年度 第46号 週報NO.1465

2006年(平成18年)6月23日 第1465回例会記録 6月30日発行

- 司 会** 飯田 泰之 副幹事
- 点 鐘** 山本 登 会長
- 斉 唱** それでこそロータリー
- ビジター** 横浜北 R.C 有馬はじめ 君
- 結婚記念日祝**

岩城 智 君 (6月24日) 伊東 英紀 君 (6月24日)

幹事報告 江森 国一 幹事

□横浜戸塚 R.C より、公式メールアドレスの変更の連絡がありました。

新メールアドレス totsuka-rc@hotmail.co.jp

□本日例会終了後、定款細則等改訂についての意見交換会を5階ジュビリーⅢにて行います。

□次週30日(金)は、年度末夜間例会にて、点鐘18:00となります。

□週報ご恵贈クラブ

川崎中 R.C、川崎とどろき R.C、川崎大師 R.C、

ロータリアン必携 (2006年)

出席報告 山田 正憲 出席委員長

会員総数	65名	(48 + 17)名
出席会員数	45名	(37 + 8)名
出席率	77.08%	
ゲスト	0名	ビジター 1名
前回補正後	91.67%	前回々補正後 97.92%

スマイルボックス 加藤 仁昭 副 SAA

山本登君 1年間、御協力有難うございました。

江森国一君 本年度、最後の通常の例会となりましたが、例会終了後、定款、細則等改訂についての意見交換会を行います。お手数をおかけいたしますが、よろしく願い申し上げます。

田邊正彦君 ニコニコに入れさせていただきます。

吉田隆男君 山本会長、江森幹事、1年間大変お疲れ様でした。

山田富雄君 富居さん、古川さん、大変結構なお品、ありがとうございました。

伊東英紀君 山本会長、江森幹事、1年間御苦勞様でした。結婚祝ありがとうございます。本日、第1、第2テーブルミーティングが開かれます。皆様の出席をお待ちしています。

河野明光君 今朝偶然お元気になるれた白井(恒)先生とお逢い致しました。30周年記念式典が成功に終わった事を喜んでおられ、「IMには必ず顔を出すよ」と約束して下さいました。

雨宮和則君 役員の皆様、1年間お世話になりました。ありがとうございました。

森永正昭君 各役員の方達、1年間真に御苦勞様でした。

鈴木武君 今日は用事で途中失礼します。

天野公史君 富居さん、石川さん、昨日は同行出来ずすみませんでした。色々ありがとうございます。

脇田いすゞ君 毎日、むし暑いです。皆様、体に気をつけましょう！

尾島俊一君 オリエンテーションありがとうございました。

6月23日	13件	37,000円
本年度累計額		2,300,790円

本日《6月30日》のプログラム

- ◆斉 唱 手に手つないで
- ◆献 立 洋食
- ◆卓 話 「年度末夜間例会」

定款・細則等改訂についての意見交換会開催

【日 時】平成 18 年 6 月 23 日（金）例会終了後

【場 所】ホテルキャメロットジャパン 5階 ジュビリーⅢ

山本会長より挨拶及び改訂の必要性についての説明があり、江森幹事よりクラブ定款・細則・慶弔規定・文書管理規定の各案が示され、改訂の要旨説明がなされた。参加会員との意見交換後、改定案を暫定的なものとして全会員に配布して意見を集約し、改訂手続を進めることで意見がまとまった。

卓 話

年度末挨拶



会長 山本 登

未だ来週の夜間例会は残っておりますが、通常例会は本日が 2005 — 6 年度の最終例会となりました。皆様、1 年間のご協力、誠に有難うございました。

昨年の春頃、現年度がスタートする前の「会長エレクト」の立場であった頃は、地区の委員長を兼任していた事もあって、余り実感の無いまま漫然と前年度の運営を他人様の様に唯「眺めて」おりました。クラブ各委員会の委員長の選任や就任要請も幹事の江森さんに殆どお任せという状態でありました。何とも無責任で失礼な話ですが、自分が幹事の時にも当時の飯田昇会長から、人事に関してはかなりの部分を任せて戴いた事と、当クラブではどなたにどの委員会をお任せしても、絶大なご協力を得られる事が分っていた為で、それが当クラブの活力の源であると信じていたからでもあります。そして今、この 1 年を振り返って見た時、その事が間違いではなかったと再確認させて頂いております。

さて本年度の年初に「原点に回帰。そしてロータリーを楽しもう」とのクラブ「会長指標」を掲げました。実はこのテーマは PETS より前の段階で、幹事から次年度テーマを早々に表明する様に求められていた為、漠然と唯「30 周年」を想定して余り深く考えずに決定し、表明した物でした。RI のテーマ、地区テーマと強調事項が明らかになり、実際に次年度の理事・役員・委員長会議が開催され、「30 周年の担当年度」である事がいや応無しに実感させられ、更に各委員長に活動計画の各論に踏み込んでのお願いをする段階になった時、再度「会長指標」を見直してみると、結果的にはさして的外れなテーマではなかったと考えるに至り、そのまま用いる事に致しました。

本日は時間の関係で各委員会の活動を個々に振り返ってお話をし、お礼を申し上げる事は致しませんが、今年度も例年に勝るとも劣らない、活発な委員会活動が実践された物と確信致しております。会員諸兄に深く感謝申し上げます。

またこの場をお借りして衷心より感謝の意を表したい事がございます。それは幹事の江森会員に対してであります。正にこの 1 年間素晴らしいサポートをして頂きました。アドバルーン

ンを打ち上げるだけで実務は全く不得意な会長に対し、迅速で着実なご援助を戴き、大過なく 1 年間を全うする事が出来たのは、「しょうがねーなー」と言いながら、期待以上の仕事を完遂してくれた名幹事の存在があったからに他ありません。江森さん、本当に有難うございました。

ところで、今年度の「会長指標」には二つの副題を付けさせて頂きました。1 つは「お互い（の職業）を知り、理解・尊敬し合おう」という標語です。これはあくまで個人的見解であります。会員数の増加により 60 名を超え、70 名近くなるとクラブ運営上は安定しても、更なる増員によっては様々な「弊害」の発生も懸念されると言う事でもあります。（これから少しお耳障りな事を言わせて戴きます）

ロータリーが此処まで発展してきた要因の一つとして、原則的には 1 業種 1 人を会員構成の基本とし、それ故に例会における異業種の会員との交流は重要であり、お互いの視野を広め、職業倫理の向上を含めた有形・無形の Profits がもたらされ、結果として有意義な例会への出席が職業奉仕をも推進する原動力になるとされております。先達の言葉に「例会は修行の場」というのがありますが、正に例会での多くの会員との出会いは「貴重な財産」となり得る筈です。しかし昨今の当クラブの現状はどうでしょうか。折角のくじ引き方式や、乱数表方式で多くの出会いのチャンスを提供しても、気心の知れた仲間との談笑を優先したいのか、かなりの方が毎週同じ様なお仲間と席を共にされておられます。その様な席に限って「卓話中の私語」も目立っております。これは世代間のギャップも勿論影響していると思われ、「親睦が第一だよ。週に一度くらい好き勝手にさせろよ」というご意見も伺ったことがあります。果たしてそれでいいのでしょうか。所謂「ムラ」が出来てはいないでしょうか。

名前すら良く知らない会員がいて、その人がどの様な職業で、どの様な人柄かも知らなければ、ロータリークラブの会員としての権利と義務を全うしているといえるのでしょうか。例会はどのテーブルに座っても居心地が良く、誰とでも親しく交流が出来、毎回新しい出会いがあって、「長幼の乃序」を守りつつ世代を超えて尊敬し合う数多くの仲間が作れる場所であって欲しい物です。このために「お互い（の職業）を知り、理解・尊敬し合おう」という標語を掲げましたが、アピール不足であったのか会長としての力不足の為か、未だに僅かしか改善の兆しは見られておりません。次年度も引き続きこの事の改善にご協力をお願いたく申し送らせて頂きます。

2 つ目の副題は「共に奉仕できる事を模索し実践しよう：各委員会の協力！」という標語です。この中には 30 周年関連事項と将来問題に関する事が含まれておりますが、将来問題に関しては単年度で何らかの方向性を出せる筈も無く、風呂敷を広げ過ぎたと反省しております。30 周年に関しては、準備委員会、実行委員会にご協力頂いた多くの会員に、唯々、感謝申し上げるばかりです。

式典ばかりでなく、記念事業をも省みますと、これ等は永年に亘り当クラブがその年々に積み重ねてきた「奉仕の軌跡の集大成」がそこに開花したものであり、その結果として数多くの参加者に感銘を与えられた事は、正にご同慶の至りであります。多くの会員のご尽力に心より感謝申し上げます。

この 2 つ目の標語には本年度に限らず、年度を跨いで挑戦事項を掲げました。

結果として幾つかの事項は達成できましたが、会長賞やマッチング・グラントなど、まだまだ多くの事が積み残しの状態のまま

となりました。次年度で取捨選択され有意義と思われる物には挑戦して頂きたいと存じます。中でも国際交流に関しては台湾の滬尾 RC との姉妹クラブ締結を視野に入れた交流が年度の終盤に開始されました。拙速は好ましくありませんが、相互訪問・観光と歓迎会が主体の交流ではなく、様々な国際貢献のプロジェクトに関する提携相手として有力なクラブと判断されますので、交流形態の検討を含め、皆様の前向きのご判断を期待致します。

さて最後になりますが。この場をお借りして皆様に再度お詫びを申し上げなければなりません。それは次年度の「役員人事」に関しての事であります。詳細は省かせて頂きますが、正に会長の手際の悪さ、不徳の致す所によりその決定に大きな混乱を生じ、関係した方々にご迷惑をおかけした事であります。幸いにして次年度小池会長・渡邊幹事のご協力により収束致しましたが、この事に関しましては深く反省を致しております。次年度は直前会長の理事として役員末席を汚させて頂きますが、可能な限りのご協力を致す事でご容赦を戴きたいと存じます。

また個人的な事ではありますが、次年度は第4グループのガバナー補佐を拝命致しております。その結果 IM のホストクラブとして当クラブの皆様へ絶大なご支援を賜らなければなりません。何卒宜しくお願い申し上げます。

それでは、再度1年間のご協力を感謝を申し上げ、年度末の会長挨拶とさせて頂きます。有難うございました。

副会長 吉田 隆男



今年度、山本会長、江森幹事の下で副会長を務めさせていただきました。そこで簡単に1年間を振り返ってみたいと思います。

まず山本会長が「原点に回帰。そしてロータリーを楽しもう」をテーマとし、江森幹事と共に1年間誠心誠意にクラブ運営をして、会員をリードしてこられました事に頭が下がる思いです。

自分を振り返りますと、副会長として大した事もせず1年間が過ぎましたが、充分クラブライフを楽しませてもらった感が致します。

P.P.でもあり副会長の山木さんは理事会、クラブ協議会などにおいて時宜に応じた重みのある発言をなし大変勉強させていただきました。

さて、クラブ奉仕担当理事として、奉仕委員会を構成する出席委員会、クラブ会報委員会、親睦活動委員会、雑誌委員会、プログラム委員会、広報委員会、及びIT推進委員会については、どの委員会も活動計画の会長指針に基づいて計画通りに行動をし、立派に実績を残されました。

それぞれの委員会についてコメントすると、出席委員会はメークアップの奨励と情報の提供が特に役立つことができました。

クラブ会報委員会は、神奈川区ビューポイント36景、会員紹介が特に印象に残っています。

親睦活動委員会は1年間に渡り委員長及び各委員の方々が積極的に活動をし、特に年忘れ懇親会、春の懇親会などどれもこれも内容豊かな充実した会を催し、会員間のコミュニケーション作りなどに大きく貢献していたと思います。

雑誌委員会は委員長の個性を反映したロータリーの友の読み方を教えていただき、ためになりました。プログラム委員会は興味深い話題などを卓話として提供していただき知識を深める

ことができました。

広報委員会は春の懇親会などのメディアの報道など目立った活動をしていましたと思います。

IT推進委員会は、クラブホームページの充実をメインのテーマに、よりよいホームページを作っていただきました。

ところで、この1年間に新たな新会員の方々をお迎えし、クラブ会員の平均年齢も若返り、新旧会員との友情を深める場でもあるテーブルミーティングなども充分に行われましたが、人生経験豊かな、諸先輩の重みのある一言を聞くこともクラブライフを勉強の場、修行の道場として自分に役立たせることが当初入会の目的の一つだったことを、1年間振り返り思い起こしています。

最後になりましたが、本年度はクラブ創立30周年記念式典があり、内容の濃い充実した1年間であったものと思います。

では山本会長、江森幹事、1年間本当にお疲れ様でした。

副会長 山木 幹夫

早1年が近づいてまいりました。

四大奉仕の皆様のご協力により終了する事になりました。特に環境問題、地域社会と福祉への支援に対する貢献に対し、深く感謝致します。

社会奉仕委員会には、青少年委員会と合同企画にて春の家族会、又神奈川小学校130周年記念に対する奉仕等、奉仕活動に多大な貢献をされました。又、青少年委員会には家族会他、種々の活動にロータリークラブの名称を知っていただいたと思います。尚、国際奉仕委員会に於いては、インドネシアのジャワ地区地震災害に対する義援金及び台湾滬尾ロータリークラブの来日、歓迎会と大変ご協力を頂きました。

職業奉仕委員会に於きましても、職場訪問等ご協力を頂きました。各委員会及び各委員の皆様へ感謝致します。

幹事 江森 国一



山本登会長のもと、RIテーマ『超私の奉仕』、当クラブ会長方針『原点に回帰。そしてロータリーを楽しもう。』及び会長指標の実現のため、さらには当クラブ創立30周年記念事業成功のために、クラブの心が一つになるよう、会員の皆様とともに頑張っ参りたいと思い、本年度をスタートいたしました。会長指標に対する評価は、山本会長からコメントがあると思いますので、私からは、1年間ご協力をいただいた各委員会に対する感謝を述べさせていただきます。

出席委員会には、欠席者に対する細やかなフォローアップをしていただき、100%達成3回、年間平均出席率も約97%と、高い出席率を維持していただきました。

職業分類委員会には、ロータリーのみならず商工会議所、職安、法人会等の職業分類に関する調査など、職業分類の適正化を検討していただきました。また、新会員に対する審査も熱心にしていただきました。

クラブ会報委員会には、表紙における神奈川区ビューポイントの紹介、新企画の会員紹介コーナー、ロータリーミニ情報の掲載など、記録としての正確さとさまざまな情報提供という側面に考慮した紙面作りをしていただきました。

親睦活動委員会には、例会の受付に始まり、新会員歓迎会、

年忘れ家族会、同好会への参加協力、年間計画になかった春の家族会の開催、30周年記念式典への協力と、実に精力的に活動していただきました。

雑誌委員会には、例会における「ロータリーの友」の紹介、さらには「友」に精力的に投稿をしていただき、ロータリー雑誌月間には、中山義之「ロータリーの友」委員会特別顧問に卓話をしていただきました。

会員選考委員会には、新会員4名に対し、会員選考委員会を開催して、適切な会員選考をしていただきました。

会員増強委員会には、4名の会員増強、内2名の女性会員の入会に奔走していただきました。女性会員も3名となり、30周年記念式典では、司会進行に華やかにご協力いただきました。

プログラム委員会には、山本会長の方針に基づき、卓話者の半数はクラブ会員に依頼する、ロータリー月間に対応した卓話者の招聘、気分転換を図れるような、楽しい卓話を行える卓話者の招聘など、例会の半分を占める卓話の充実にも努めていただきました。

広報委員会には、ホームページの更新をはじめ、当クラブの活動を積極的にメディアにアピールしていただき、「スケート教室」及び「エコ時計の除幕式」の記事が、TVKで放映され、神奈川新聞及びタウンニュースにも掲載されました。

IT推進委員会には、広報委員会と連携してホームページの充実にご協力いただきました。また、メーリングリストを構築していただき、会員間のメールによる連絡を容易にさせていただきました。現在、「ロータリーの友」の速報に利用されていますが、会員の皆様にも積極的に活用していただきたいと思います。

ロータリー情報委員会には、新会員に対するオリエンテーションの実施をはじめ、週報へロータリーミニ情報の提供、「友」インターネット情報及び4分間スピーチ用ロータリー情報の掲載など、会員へのロータリー情報の提供に取り組んでいただきました。

職業奉仕委員会には、例会における4つのテストの唱和、また特に11月には、クラブフォーラムの開催、職業奉仕の卓話の実施、日産自動車横浜工場への職場訪問と、1ヶ月のプログラムをまるまるお任せしたような、ハードなスケジュールにご協力いただきました。

社会奉仕委員会には、神奈川区中央・西部祭りにおいて、スリランカ募金¥400,000以上を集める中心となっていただき、神奈川小学校創立130周年記念に校門エンブレムの寄贈、年忘れ家族会でチャリティオークションを開催、さらには、春の家族会を共同開催していただくなど、精力的に活動していただきました。

青少年委員会には、地区行事への協力、石井香織さんのフィンランドへの留学、地域の青少年活動の支援、「新世代のための月間」の卓話、絵本の新たな翻訳協力校となったフェリス女学院との交渉、春の家族会の共同開催など活動計画を超えるご協力をいただきました。

国際奉仕委員会には、スリランカへの支援活動、地区への協力、淡水RCとの姉妹クラブ延長交渉、韓国のクラブとの姉妹クラブ提携への調査、滬尾RCの創立総会への参加、滬尾RCの歓迎会、国際大会への参加など、クラブの新しい国際奉仕への取り組みの礎を築いていただきました。

ロータリー財団委員会には、6月16日現在、クラブ寄付合計金額12,939.27ドル(30周年寄付を含む)、クラブ一人あたり212.12ドル、ベネファクター2名となり、目標を大きく超える寄付を集めていただきました。

米山奨学委員会には、米山月間での卓話の実施、故米山梅吉

氏の法要墓参例会への参加、特に奨学生の李君に対する配慮など、きめ細かい活動をしていただきました。また、6月16日現在、クラブ寄付合計金額2,340,400円(30周年寄付を含む)、クラブ一人あたり37,748円となり、目標を大きく超える寄付を集めていただきました。

また、会長方針に従い各委員長には、クラブ協議会に際し、詳細な活動報告と協議事項を書面で提出していただきました。クラブ協議会では、これをまとめて情報の共有化、記録化、迅速な会議運営を図ることができたと考えます。各委員長のご協力に感謝申し上げます。このクラブ協議会の報告は、ホームページの会員専用ページに掲載いたしましたので、是非ご覧になっていただきたいと存じます。

SAAには、例会のみならずクラブの円滑な運営、例会の禁煙化、テーブルミーティングの実施にご協力いただきました。また、スマイルの目標達成も確実となりました。特に加藤副SAAには、業務多忙のSAAに代わり、ご苦勞をおかけいたしました。

最後に創立30周年実行委員会の皆様には、充実した意義深い記念事業の実施、盛大に行われた記念式典、祝賀会の準備と進行、記念誌発行など、紙面には表せないほどの活動をしていただきました。式典直前には、毎日のように顔を合わせていたことを思い出します。

さらに、会員の皆様には、クラブ行事をはじめ、各委員会の活動に積極的に参加していただきました。例年にも増して多忙な1年となりましたが、創立30周年の節目の年にふさわしい、大いに盛り上がった1年だったように思います。

幹事として、クラブのために少しでもお役に立てたのかと考えると、悔いの残ることもございますが、私個人としては、楽しく思い出深い充実した1年を送ることができました。未熟な私がこの重責を何とか果たすことができましたのは、理事、役員、委員長及び会員の皆様の絶大なご支援とご指導があったこそと、心より感謝申し上げます。

また、幹事本来の責務の殆どをカバーしていただいた事務局の一柳さんには、1年間お世話になりましたことに感謝を申し上げます。年度末のご挨拶とさせていただきます。

会計 館野 典久

本年度の例会も残り2回となりました。1年間ご苦勞様でした。本年度は、30周年行事、春の家族会など特殊な支出もありましたが、最後の締めもきっちりしたいと思います。会計としての仕事もだいぶ慣れてきましたが、これからも職務をまっとう出来るよう頑張っていきたいと思っています。これからもよろしくお願ひします。

***** 担当者より *****

会報委員長 高田 修

私の中では、オーストラリア戦でワールドカップは既に終わっていましたが、今日からは冷静にサッカーを観戦することが出来ます。やはりブラジルが優勝かな？

次回《7月7日》の卓話予定

「新年度挨拶」

会長・副会長・会長エレクト・幹事・会計